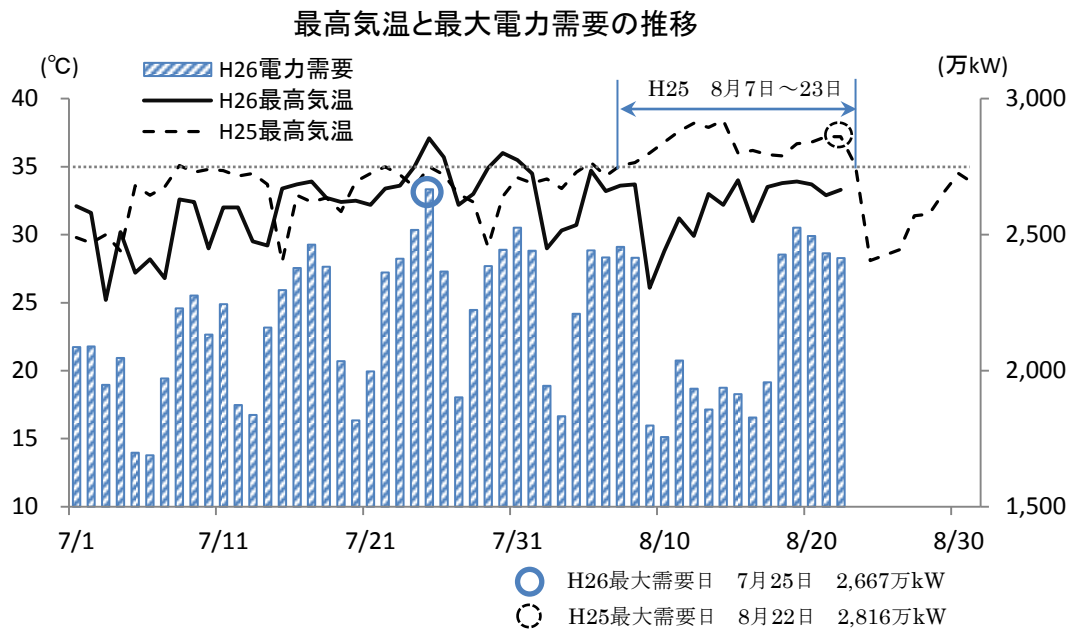


今夏の電力需給状況について

平成 26 年 8 月 28 日
関西広域連合

- 関西電力のデータによると、節電要請期間中（7 月 1 日～8 月 22 日）における最大需要は、7 月 25 日 14 時台の 2,667 万 kW で、同日の最大供給力 2,822 万 kW に対し使用率は 94% であった。
- 4 月の電力需給見直し検証時には、昨夏並みの猛暑を想定し、ピーク需要 2,873 万 kW、供給力 2,960 万 kW を見込んだが、これまでのところ昨夏に比べ気温が低く推移し、需給は安定している。



- 今夏の関西電力の主な計画外停止等は以下のとおり。
 - ・ 7 月 3 日～7 月 6 日 御坊 1 号機（60 万 kW） 停止（タービン設備の損傷）
 - ・ 7 月 13 日～7 月 14 日 姫路第二 5 号機（60 万 kW） 出力抑制（タービン設備の損傷）
 - ・ 8 月 10 日～8 月 18 日 南港 2 号機（60 万 kW） 停止（冷却水取水設備のつまり）
 - ・ 8 月 20 日～ 姫路第二 6 号機（60 万 kW） 停止（ボイラ配管の蒸気漏れ）
- 今夏のこれまでの節電の状況を、日々のピーク時刻（14 時～15 時）の需要と気温の関係から解析すると、平成 22 年度夏と比べて平均で約 12%（約 310 万 kW）減少している。

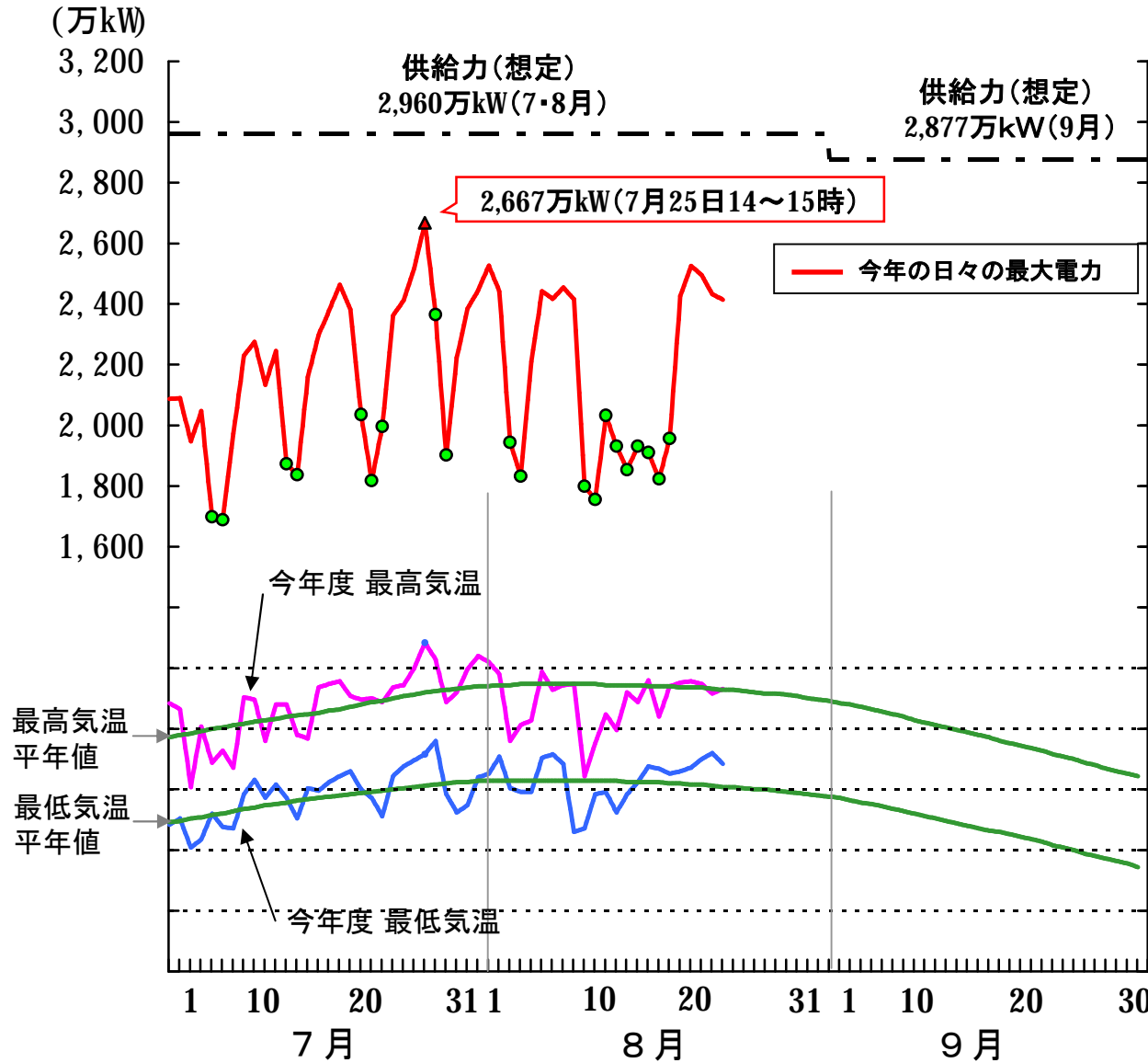
《参考》

今夏の節電要請内容	: 昨夏実績以上の節電の実施
今夏のこれまでの節電実績	: 平成 22 年度夏比 約 12%（約 310 万 kW）
昨夏の節電実績	: 平成 22 年度夏比 約 11%（約 280 万 kW）

火力発電所のトラブルリスク等を踏まえ、電力需給がひっ迫に至ることのないよう、引き続き、府県民や事業者の皆様にも節電の着実な実施を呼びかけていく。

今夏の最大電力および気温の推移

関西広域連合
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成26年8月28日



◎気温※1(大阪) (°C)

H26年7月		平年差
平均	27.8	+0.4
最高	32.1	+0.5
最低	24.5	+0.2

H26年8月上旬※2		平年差
平均	27.7	▲1.4
最高	31.5	▲2.3
最低	25.3	▲0.4

H26年8月中旬※2		平年差
平均	28.9	▲0.1
最高	32.6	▲1.0
最低	25.9	+0.2

H26年8月下旬※2		平年差
平均	29.6	+0.9
最高	33.1	▲0.2
最低	27.6	+2.3

◎猛暑日(最高気温35°C以上) (日)

7月	8月上旬※2	8月中旬※2	8月下旬※2	計
5	0	0	0	5

◎熱帯夜(最低気温25°C以上) (日)

7月	8月上旬※2	8月中旬※2	8月下旬※2	計
14	5	7	2	28

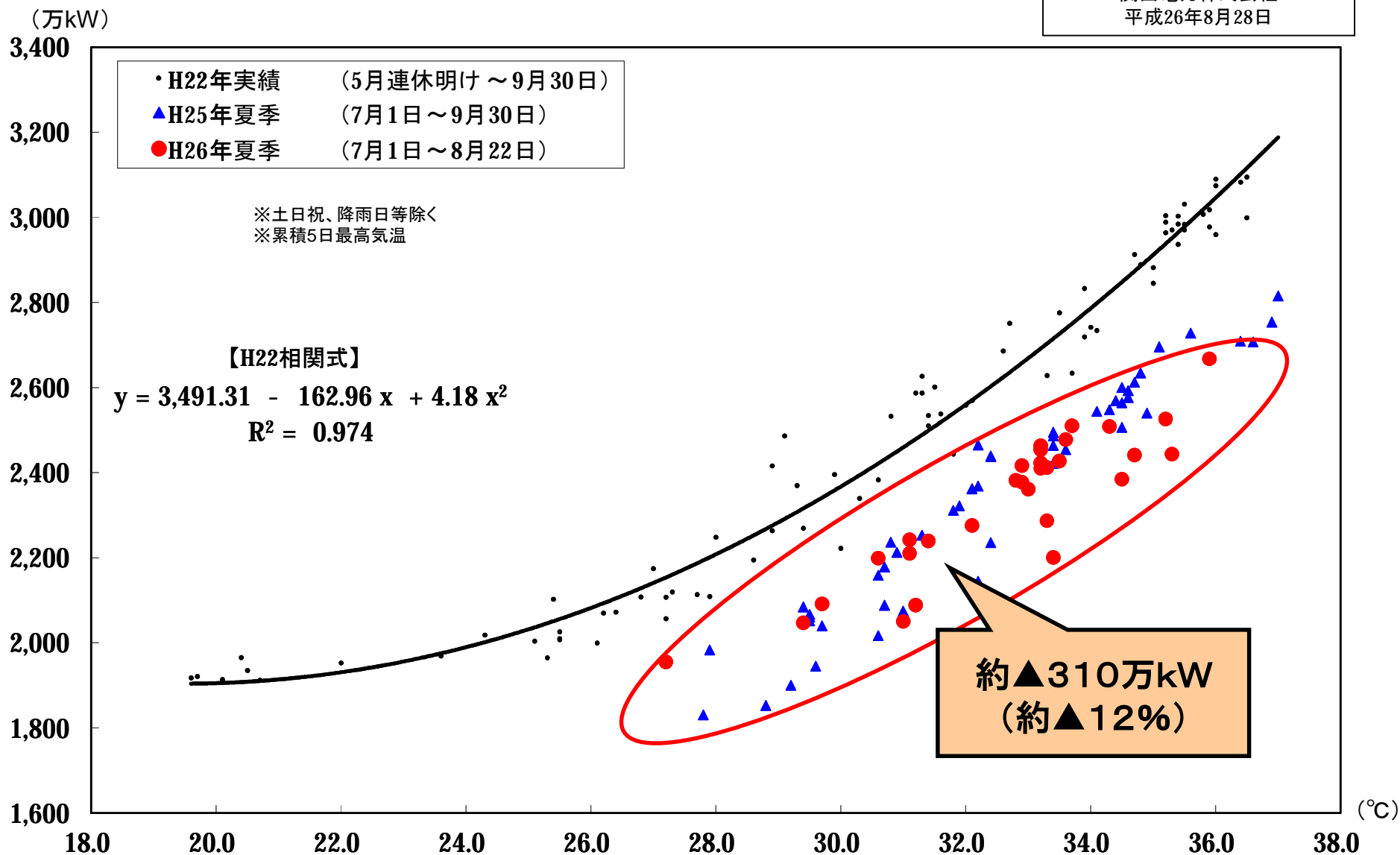
※1 気温は全て期間の平均値
※2 上旬8/1~10、中旬8/11~20、下旬8/21~22の値

● : 今年の土日祝日、お盆期間(8/11~8/15)を表す

○今夏のこれまでの最大電力発生日時は7月25日(金)14~15時の2,667万kWです。

14～15時の電力需要実績の比較〔対H22年比〕

関西広域連合
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成26年8月28日



○7/1から8/22までの実績では、H22年と比べて、平均で約310万kW(約12%)減少しています。この中に節電効果が含まれているものと考えられます。

平成25年夏と今夏の節電の比較〔対H22年比〕

関西広域連合
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成26年8月28日

		H26年度 夏(今夏) [算定期間:7/1~8/22]		H25年度 夏 [算定期間:7/1~9/30]	
		減少量	減少率	減少量	減少率
節電効果(全体)		約310万kW	約 12 %	約280万kW	約 11 %
(内訳)	家庭用	約 70万kW	約 13 %	約 60万kW	約 11 %
	業務用	約140万kW	約 13 %	約 130万kW	約 12 %
	産業用	約100万kW	約 10 %	約 90万kW	約 9 %